



地域の仲間同士で受講してみませんか？

認知症 サポーター 養成講座

受講の
ご案内



人生 100 年時代、誰もが認知症とともに生きる時代。
今こそ、「新しい認知症観」に変えよう。

年齢を重ねるほど「認知症」になる可能性は高くなります。認知症になったら何もできなくなるという古い考え方を、認知症になってもできること・やりたいことを続けながら自分らしく地域で暮らすという考え方、「新しい認知症観」に変えていくことが大切です。

認知症を「自分ごと」として捉え、新しい認知症観や認知症になっても安心して暮らすためにできることを学ぶ「認知症サポーター養成講座」を地域の仲間と一緒に受講しませんか？

認知症を正しく理解

周囲の認知症の人への理解や正しい接し方も知ることが大切（10代）

認知症を正しく理解すること。
無知はよくない（50代）

安心して暮らせる街

認知症に理解ある市民が多いと、
住みやすい街だと思う（20代）

認知症の人を含め、多様性を認める
社会づくりが必要（50代）

受講者
の声

日頃のつながり

他人事と思わずにお互いに元気を確認できる
ような地区になったらいいですね（70代）

関係性が希薄化している地域では、住民同士の
助け合いが難しい。地域の交流の場があれば、
日頃の関係性が変わるのかな（10代）

認知症の人の家族を支えるつながりが
身近に感じられるといいですね（70代）

備える

自宅以外にも自分の居場所を作ること、
夢中になれる、心動かされる趣味をつくることが
大切（30代）

「認知症サポーター」とは？

「認知症サポーター」は、認知症を正しく理解し、
認知症の人や家族を地域の中で温かく見守る「応援者」です。

「認知症サポーター」を増やし、認知症の人・その家族が安心して暮らせるまちを地域のみんなで作るつくる取組として、「認知症サポーター養成講座」が全国で開かれています。

受講生は、講座修了後「認知症サポーター」となります。市内では、約１万６千人の認知症サポーターが誕生しています。



「養成講座」の内容は？

地域の概ね１０人以上のグループを対象に９０分※で、認知症の基礎知識、接し方のポイントなどを講話や演習を通じて学びます。

● 対象・所要時間…

概ね１０人以上のグループを対象に実施します。講座時間の基本は９０分※です。

※ ただし、高齢者のみのグループ等対象者が９０分の講座を受けることが難しい場合に限り、６０分以上の時間に短縮して行いますので、講師（キャラバン・メイト）へご相談ください。

● プログラムの内容…

以下の内容について、テキストやスライド、演習などを通じて伝えます。

- 高齢社会と認知症（統計情報）
- 認知症の基礎知識（脳の働き・認知症になると起こること）
- 認知症の症状とそれに合わせた接し方・接する時の心がまえ
- 認知症の人の家族の気持ち など

● 講座の講師（通称「キャラバン・メイト」）…

認知症サポーター養成講座では、講師の専門研修を受けた医療・介護の専門職や認知症家族会会員などが講師（キャラバン・メイト）をつとめます。

お問い合わせ先

● 周南市役所地域福祉課 電話 0834-22-8462